

職員提案制度における令和6年優秀提案について

令和6年は37件の職員提案があり、下記のとおり、知事より優秀提案を決定いただきました。
つきましては、下記優秀提案について、各職場において周知いただき、活用されますよう、お願いいたします。

○ 優秀提案の件数

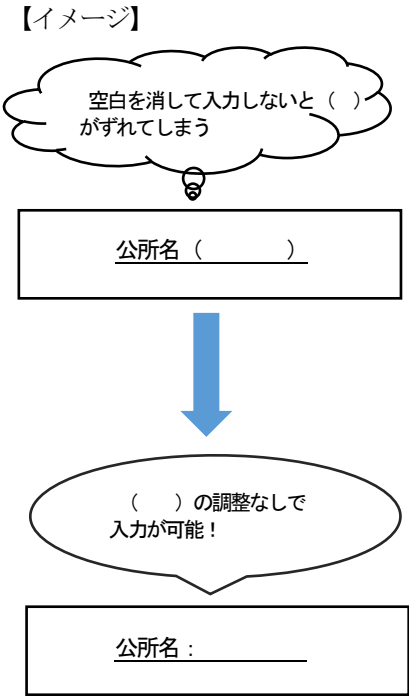
優秀賞：県政課題の解決や業務の改善等に貢献する提案 2件

奨励賞：優秀賞には至らないが、県政課題の解決や業務の改善等に貢献する提案 3件

○ 優秀提案の概要

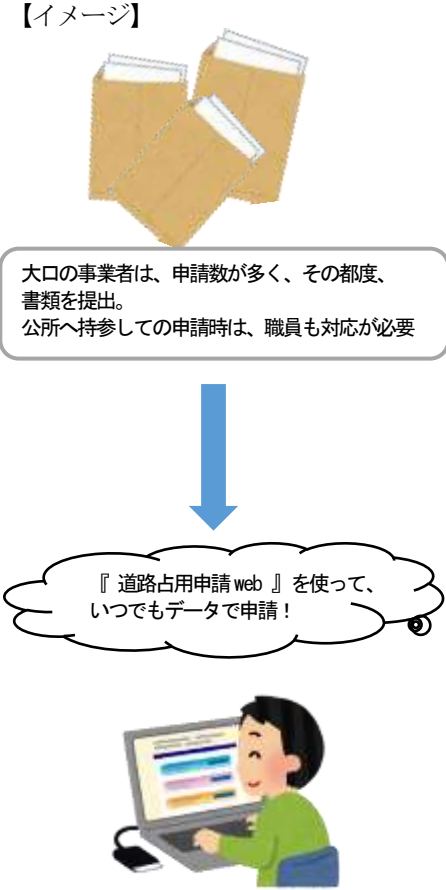
【優秀賞】 2件

提案名	あなたの思いを聞かせていただけませんか？ ～私達医療者があなたの意思を支えていきます～	
提案者	中央病院 主任看護師 池田 あゆ（いけだ あゆ）	
提案概要	患者本人や家族等の意思に沿った医療・ケアの提供を推進するため、アドバンス・ケア・プランニング（以下「ACP」(※)という。）による医療やケアの支援体制を構築する。 ※ACPとは：自身の医療及びケアを、本人の意思決定により行えるようにするため、本人やご家族、医療・ケアチームが話し合いを行う取組みのこと。 【提 案】 <目 的> 患者・家族の ACP への理解を深め、自分の意思で選択した医療やケアを受けることができるようにする。もって、自分らしい生き方、人生の満足感へ繋げていく。 <具体の取組み> ACP の機会を増やし、継続介入に繋げるため、現在、県立中央病院に通院している一部の外来患者（がん患者等）に限定的に行っている以下の取組みを、通院外来患者と入院病棟患者へ対象範囲を拡大し、病院全体での取組みとする。 ①看護師が ACP の説明リーフレットを渡す。 ②ACP を希望する患者については、例えば、検査・治療を依頼した科（主科）から検査・治療を行う科へ「ACP 介入対象患者連絡票」を送り、ACP の継続介入に繋げる。	【イメージ】 リーフレットの配付や院内での連携で、患者さんが自身の将来の医療やケアについて考え、周囲に共有する機会を確保。 患者さんへ ACP をお知らせするリーフレットお渡し ACP 介入を希望する患者さんについて、「ACP 介入対象連絡表」により引継 患者さんの人生観や価値観、希望に沿った、将来の医療及びケアのために！

提案名	回答・報告様式の小さな「面倒」を減らそう	
提案者	山形養護学校 主査 相田 真智子（あいた まちこ）	
提案概要	提出担当者の事務軽減を図るため、各所属等にデータ様式を提供して各種報告等を求める場合、このデータ様式を提出側の入力時の手間縮小に配慮した形式に変更する。 【提 案】 <現 状> 各種照会や会議出席報告をメールで送付された様式で回答する際に、下記イメージのように、入力時余計に思える手間がかかることがある。 <見直し後> 「（ ）の代わりに：を使う」、「右寄せにせず任意の桁の数字を入れやすくする」、「文章入力欄に罫線を入れず任意の行数で書けるようにして文字数が増えても対応しやすくする」等の様式を推奨する。	【イメージ】  空白を消して入力しないと（ ）がずれてしまう 公所名（ ） （ ）の調整なしで 入力が可能！ 公所名：

【奨励賞】 3件

提案名	共用車予約方法の簡略化について	
提案者	庄内総合支庁地域産業経済課 主事 金子 直樹（かねこ なおき）	
提案概要	事務効率の改善を図るため、職員が共用車（職員が自ら運転する公用車）を利用する際の申込方法を、現在の紙ベースによる申し込みから、県庁イントラ情報システムに入力する申込方法に見直す。 【提 案】 <現 状> 庄内総合支庁の職員が庁内の共用車を利用する場合、現在は、①総務課に紙の申込書を提出し、②総務課において申込内容を確認・山形県庁イントラ情報システムのグループウェアに記載する手続きが必要である。 <見直し後> 申込者と確認者双方の業務の省力化の観点から、他設備の利用手続きと同様に、各職員がグループウェアに直接記入して予約することを可能にする。	【イメージ】 

提案名	道路占用許可申請事務のオンライン化による業務の効率化	
提案者	置賜総合支庁西置賜建設総務課 主任主査 大河原 重明（おおかわら しげあき）	
提案概要	許可及び更新許可に係る業務の効率化を図るため、県が行う道路専用許可の事務手続きにおいて、既存の民間システム（NTT 東日本が運営しているシステム）を活用する。 ※ただし、当該システムを活用して業務効率化を図るためには、県側の決裁事務の電子化が必要となる。 【提 案】 <目 的> 道路占用許可申請（更新を含む）は、電力柱、電話柱を多く所管する東北電力ネットワークやNTT東日本による申請が全体の約2割を占める。このような申請について、オンラインで申請ができるシステムを活用することで、道路占用許可に関する業務の効率化を図る。 <内 容> 他自治体では、NTT東日本が運営する「道路占用申請Web」を活用して、申請手続きのオンライン運用を行っているところもあり、書類の削減、業務の効率化等が図られている。特に申請件数が多い申請者がこのシステムを利用することで、オンラインによる申請率は高いものとなり、業務の効率化が期待される。 本県においてもNTT東日本が運営する「道路占用申請Web」を活用し、業務の効率化を図る。	【イメージ】 

提案名	すき間時間でPR！電話保留音で山形県の魅力を発信しよう
提案者	村山総合支庁総務課 職員係長 加藤 恵理（かとう えり）
提案概要	県内外への県 PR・情報発信を推進するため、職場の電話機の待ち受け時の保留音を県の PR 音声等に変更する。 【提 案】 職場の電話機の保留音（相手側に流れる音楽）について、一部の所属ではつや姫の PR 音源などが使用されているが、多くの職場では初期設定の音楽になっている。 この保留音について、つや姫 PR 音源や県民歌などを設定することで、山形県の魅力を発信する。 【イメージ】  職場の電話機の保留音に、県民の歌等、PR 音を設定♪ ↓ ちょっとした待ち時間に、色々な情報を聴いて（知って）もらえる。